

長岡京市第二期環境基本計画実施計画
進捗報告書

令和 3 年度評価結果

つむぎ織りなす
“環境の都” 長岡京



長岡京市役所
令和 4 年 8 月

目次

2021 ハイライト！	1
長岡京市第二期環境基本計画について	3
1、エネルギーを大切にするまちづくり	4
2、資源循環型社会の形成	12
3、自然環境の保全	17
4、快適な都市環境づくり	22
5、協働・環境学習・エコアクションの推進	28
●長岡京市第二期環境基本計画成果指標について	33
●令和3年度全体の評価	34
●長岡京市第二期環境基本計画の総括	35
●第三期環境基本計画での分野横断的視点・ゼロカーボンシティ宣言	40
●長岡京市生活環境審議会の評価・意見および市の考え方	41

2021ハイライト！

第13回環境フェアの開催

例年、中央公民館を会場に開催している環境フェアですが、令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コミュニティラジオ「FMおとくに」と、市ホームページを使って、11月28日（日）に、オンエア・オンラインにて開催しました。

予定していた農業祭との会場での合同開催は、農業祭が中止となったため叶いませんでしたが、ラジオの中で、農業祭実行委員会が主催する地元野菜の直売会との中継放送を実現するなど、環境保全と親和性の高い「農」分野とのコラボレーションを果たしました。「農」と「環境」それぞれが独立して事業を行うのではなく、一体となって事業を行うことで、「地産地消と温暖化対策」など、横断的な啓発を行うことができ、また、集客・PR効果などの面でも相乗効果を得られたと評価しています。今回のコラボレーションはごく一部の連携にとどまりましたが、今後は、より連携した催しとして実施できればと考えています。

ラジオの後半では、地元高校生と、年齢層の高い環境団体との意見交換会を実施し、世代を超えた交流を通して、環境問題を幅広い世代に伝えました。このように、市民による環境への想いの情報発信の機会を創出することで、市民から市民への啓発の活性化を促し、環境問題を「自分ごと」としてより身近に考えていただきたいと考えています。



■新型コロナウイルス感染症の流行について

令和元年度末から日本でも猛威をふるい始めた新型コロナウイルス感染症の影響は長く、令和2年度に続き、令和3年度においても、多くの事業が開催規模縮小などの対応を迫られることとなりました。本実施計画に掲げる事業の多くも、通常とは異なる形での実施を行ったものが多くあり、そのことが評価にも影響しています。ウィズコロナと言われるように、このコロナ禍がすぐには終息しないことを念頭に、デジタルの活用など、環境保全啓発の仕方を引き続き工夫していかなければなりません。

一方、社会全体では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を契機として、新しい生活様式を模索する動きが広がってきました。デジタル化・テレワークの推進による働き方の見直しなどが挙げられますが、それは同時に、ペーパーレス化、移動に伴うCO₂の削減など、環境とも関わる部分が多くあります。コロナ禍をきっかけに、環境保全の分野においても、これまでの常識を変えるような変革の視点が必要と考えます。

令和3年度“環境の都” 賞受賞者



片山 洋子 さん

片山様は、長きにわたり「長岡京市生活学校」の運営委員長として、マイバッグ運動、食品ロス削減運動、生ごみ水切り運動、廃油回収、小学校へのエコキャンドル作り、廃油石鹸作り、和紙作り指導など、様々な環境活動を実践されてきました。また、平成28年には「フードバンク長岡京」を発

足し、市役所をはじめ生協ながおか店などにおいて、定期的に、家庭などで余っている未利用食品について寄附の受付を行い、長岡京市社会福祉協議会を通じて食品を必要とする個人や団体などに寄付するという活動を行っておられます。そのほかにも、「長岡京市生活環境審議会」委員や「長岡京市廃棄物減量等推進審議会」委員を歴任され、自身の経験を生かした建設的な意見を積極的に発言いただいています。片山様のこれらの活動が、長岡京市の豊かな環境を守り、自然と共生する持続可能なまちづくりに貢献するものと評価され、環境の都賞を受賞されました。

サントリーグループとのペットボトルの水平リサイクルに関する協定

令和3年10月21日、長岡京市をはじめ、乙訓2市1町と乙訓環境衛生組合及びサントリーグループとの間で、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結しました。水平リサイクルとは、ペットボトルからペットボトルというように、同じ製品に生まれ変わらせるリサイクルのことを言います。これにより、

理屈上何度でもペットボトルに生まれ変わらせることができるので、最終焼却処分される際のCO₂を抑制できる上に、製造過程のCO₂も大幅に減らすことができます。また、廃棄物減量にとっても有効です。令和4年度からは、乙訓2市1町から排出されるペットボトルは水平リサイクルに回ることとなります。



COOL CHOICE 実践補助金のスタート

薪ストーブの設置補助や住宅窓の断熱改修補助など、これまでの補助制度を1本に整理・統合し、市民が自分のライフスタイルに合った補助メニューを選べるような分かりやすい制度設計の補助制度として、令和3年度より、COOL CHOICE 実践補助金を創設しました。そこへ新たな補助メニューとして次世代自動車の購入補助を追加しました。

